



セネガル国 コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト

《 ドレール CMU 》

《 プロジェクト第 2 期 》

セネガル国コミュニティ健康保険制度および無料医療制度能力強化プロジェクト（ドレール CMU）は、3 年間の JICA 技術協力プロジェクトであり、セネガル国ジールベール州、タンバクンダ州、ティエス州から各 1 県を対象として活動しています。活動は 2 期に分かれており、第 1 期は 2017 年 10 月～2018 年 9 月、第 2 期は 2018 年 12 月～2020 年 9 月です。本ニュースレター第 3 号では 2018 年 12 月から 2019 年 7 月にかけて第 2 期開始以降に実施した活動を紹介します。

2018 年 12 月～2019 年 7 月の活動実績

医療保障庁（CMU 庁）職員、保健共済組合職員、医療機関を対象とした研修の実施

1. 保健共済組合職員向け研修

2018 年 12 月にブル県において事務・財務管理 (GAFC) およびパソコン研修を開催しました。本研修は第 1 期中に開催する予定でしたが、CMU 庁の組織改編に伴い、第 2 期に延期していたものです。本研修を通して、保健共済組合員は事務・財務管理に係る専門知識だけでなく、コンピュータの基本操作技術を身に付けました。

SunuCMU 研修

住民の保健共済組合への加入を促進し、医療保障に係る資金調達の高活性化を図るため、CMU 庁は「SunuCMU」（ウオロフ語で「私たちの CMU」の意）を開発しました。このウェブプラットフォームを利用すると、セネガルまたは海外の個人や法人が、インターネットにアクセスすることで、物理的に移動することなく、セネガル全地域の住民の保健共済組合への加入料を負担・支援することができ、直接的な貢献ができます。

本プロジェクトでは、SunuCMU プラットフォームの正式導入に先駆けて、対象 3 県の保健共済組合職員を対象にした研修を、2019 年 4 月に開催しました。この研

修で、保健共済組合職員の代表者や管理者は SunuCMU プラットフォームの概要に加えて、デジタル化の課題、クラウドファンディングおよび電子決済処理に関するトレーニングを受けました。

またプロジェクトでは研修に加えて、デジタルツールの利用と SunuCMU プラットフォームへの理解を促進するために、5 つのチュートリアル動画をウオロフ語にて制作し、研修後にフォローアップを実施する際、保健共済組合職員へ配布しました。



事務・財務管理 (GAFC) およびパソコン研修

表：保健共済組合職員向け研修実績

	研修テーマ	対象	日時	場所	研修講師
1	事務・財務管理 (GAFC)、PC	UDMS, UTG, MS, APM : 53 名	2018 年 12 月 17-21 日	ンブル	DSI, RUAMA,外部コン サルタント
2	SunuCMU	UDMS, MS, UTG, DS : 120 名	2019 年 4 月 2-3 日	ザリ	DSI, DO, SR ACMU
			2019 年 4 月 9-10 日	クンペントウム	
			2019 年 4 月 18-19 日	トゥーバ	

* UDMS : 保健共済組合県連合 ; UTG : UDMS 技術支援員 ; APM : MS 促進係員 ; RUAMA : 州支部健康保険担当 ; DS : 保健区 ; DSI : 情報システム局 ; DO : オペレーション局 ; SR ACMU : CUM 庁州支部

2. 医療機関担当者向け研修

州医務局および保健区事務所と連携し、2019 年 3 月から 5 月にかけて、クンペントウム保健区およびンバケ保健区にて医療機関担当者向け研修を実施しました。本研修を通して、保健ポストおよび保健センター担当者

は、一般的な医療保障制度の概要に加え、診療報酬請求審査についての知識強化を図りました。さらに、コミュニティ健康保険制度や無料医療制度のトピックについても活発な議論がなされました。

表：医療機関担当者向け研修実績

	研修テーマ	対象	日時	場所	研修講師
1	医療保険制度・手続き	保健区医療事務担当者、保健センター・保健ポスト職員: 67 名	2019 年 3 月 18-19 日	クンペントウム	CMU 庁州支部長, RUAME, RUAMA
			2019 年 5 月 6-7 日	ンバケ	

3. CMU 庁職員向け研修

プロジェクトでは、活動の一環として CMU 庁および州支部と密接に連携し、関係者にとって魅力的で有益な研修を実施しています。例えば、業務で研修講師を担当している CMU 庁職員に対し、ツール等を利用して効果的に研修参加者へ知識を伝える能力の強化を目的とした、「研修・教育法」に関する研修を開催しました。本研修を通じ、研修をより適切に準備、実施、評価するための手法について、新たな学びを得ました。

さらに、2019 年 6 月に CMU 庁の 2 つの部局から課長 2 名および対象 3 州の各支部長 3 名の計 5 名を対象にした、本邦研修を日本で実施しました。本研修では、日本の医療制度、国民健康保険、診療報酬請求の審査などについて理解するとともに、他国におけ

る医療保障制度の事例を学びました。本研修参加者は、帰国後それらの経験を CMU 庁の他職員や関係者へ共有するために、経験共有ワークショップを開催しました。セネガルの現実に適応した活動計画を作成し、CMU 庁長官へ提言する機会となりました。



日本における国別研修

表：CMU 庁職員へ向け研修実績

	研修テーマ	対象	日時	場所	研修講師
1	医療保障制度集団研修の経験共有	CMU 庁職員 : 20 名	2019 年 1 月 29 日	CMU 庁	CMU 庁ファティック州支部長、健康保険技術顧問
2	研修・教育法	CMU 庁職員、州支部職員 : 21 名	2019 年 2 月 13-15 日	ザリ	外部講師
3	本邦研修	CMU 庁課長、州支部長 : 5 名	2019 年 6 月 9-23 日	日本	プロジェクト、有識者
4	本邦研修経験共有 ワークショップ	CMU 庁職員、健康保険共済組合 連合職員 : 20 名	2019 年 7 月 24 日	ダカール	本邦研修参加者

コミュニケーション活動

1. 啓発ビデオコンテンツ制作

2019年7月にティエス、ジュールベルおよびタンバクンダ地域における保健共済組合への加入促進のための、啓発ビデオコンテンツ内容を検討するワークショップをティエスにおいて開催しました。このワークショップは、啓発ビ



啓発ビデオコンテンツ検討ワークショップ

デオコンテンツ制作の方法や内容を CMU 庁職員、保健共済組合県連合 (UDMS) および UDMS 技術支援員と議論することが目的でした。プロジェクトは、対象 3 州においてそれぞれビデオコンテンツを制作し、対象 3 州の全ての保健共済組合職員へ配布しました。

2. ラジオ放送

マスコミュニケーションの一環として、プロジェクトでは CMU 庁州支部および UDMS 技術支援員と協力して、クンペントウム県においてラジオ放送を利用した啓発活動を実施しました。保健共済組合へ加入することの利点を住民に説明し、地域の保健共済組合事務所の紹介を行いました。また、聴取者からの問い合わせに対して、明確な回答を提供しました。

プロジェクト管理運営会議

1. 州ワーキンググループ

第 4 回目の州ワーキンググループを 2019 年 3 月から 4 月にかけて開催しました (ジュールベル 3 月 26 日、ティエス 3 月 27 日、クンペントウム 4 月 11 日)。

これら会議の主な目的は、第 2 期の活動計画および第 1 期の活動成果と教訓を共有し、プロジェクトの次のステップを明確化することです。ジュールベルとティエスの会議では、プロジェクト専門家が地域レベルでの CMU 状況分析結果を発表する機会を得ました。プロジェクトの活動で得られた好事例について要約をまとめ、改善点についての提言を CMU 庁州支部へ行いました。



州ワーキンググループ (ジュールベル)

2. 中央ワーキンググループ

第 3 回目の中央ワーキンググループをダカル市内のレジデンス MAMOUNE において、2019 年 4 月 17 日に開催しました。議長は、CMU 庁長官が務めました。

本会議には、対象 3 州の関係者や開発パートナーも出席しました。セネガル国の医療保障制度の複雑さに焦点を当て、コミュニティ健康保険、医療支援、コミュニケーションとマーケティング、運営や管理に関して、プロジェクトの第 1 期で学んだ教訓について議論しました。また、第 2 期の活動計画の共有と確認を行いました。また、州ワーキンググループと同様、プロジェクト活動で得られた好事例および改善点について共有を行いました。



中央ワーキンググループ

3. 合同調整委員会

本年 2 月の大統領選挙後の省庁再編に伴い、CMU 庁は保健社会活動省（MSAS）から切り離され、現在、地域開発・社会国土公正省に所属しています。しかし、監督省庁が変更される前日に、在セネガル日本大使館および JICA セネガル事務所の代表者も出席し、MSAS 官房長官の議長の下で、第 3 回合同調

整委員会を 2019 年 4 月 17 日に開催しました。本会議では、第 2 期の活動計画の承認、モニタリングシート No.3 の共有、プロジェクト PDM の変更および次のステップ確認を行いました。プロジェクト PDM の変更は、プロジェクト指標および無料医療制度をコミュニティ健康保険へ組込む制度変更に伴う活動の修正でした。

CMU 庁からの声 : Dr Mor NGOM ; プロジェクトマネージャー, 計画調査モニタリング評価局長

« ドレール CMU », 受益者のための能力強化

近年、日本とセネガル間の協力は、いくつかのプロジェクト/プログラムを通じて着実に増加しています。「ドレール CMU」として知られる、コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクトは、2017 年 10 月に 3 年間の実施期間で開始されました。

2017 年 10 月から 2018 年 9 月までが第 1 期で、その後 2018 年 12 月から 2020 年 9 月までの 22 か月の予定で、第 2 期が実施されています。

本プロジェクトは、一般的にセネガルだけではなく、特にユニバーサルヘルスカバレッジのプログラムとして、そのコンセプトとアプローチに大きな関心が集まっています。

その一例を紹介します。

- 健康保険制度へ移行するための能力強化に必要な事項がプロジェクト開始後早い段階で特定され、活動を進める中で得られた教訓に基づいて更新を行っています。
- プロジェクトの活動には、さまざまな実践的なトピックの研修（管理、マネジメントおよびリーダーシップ、コミュニケーションおよびマーケティング、情報システム、診療報酬請求審査、モニタリングなど）が含まれており、他国における医療保障制度の紹介、スーパービジョン実施、対象 3 州の保健共済組合の組織および職員を強化するための物品・機材供与などを行っています。
- プロジェクトの運営は、関係する多様な機関・組織によって管理されており、定期的に会議を開催しています。
- 当局、関係者、受益者の関係と所有権は、プロジェクト実施中も各段階において常に要求され、プロジェクト終了後の持続性が保証されています。

本ニュースレターには、プロジェクトの第 2 期に予定された多くの活動の実施状況が網羅されています。

どうぞ、ご一読ください！



Dr. NGOM とプロジェクト総括
(Dr. SHIMIZU)

プロジェクトダカール事務所

ダカール : Ngor Almadies, Zone 10 - lot N° 22, près de l’OMS, Dakar (E-mail : doleel.cmu@gmail.com)

プロジェクト地方事務所

ティエス : Résidence Mandiaye SQUARE, 1er étage villa n°76 Quartier 10e RIAOME, en face de la préfecture

ジュルベル : Rue Serigne Tacko Mbacké, Angle Avenue El Hadji Malick SY, Quartier Escalé, Diourbel

タンバクンダ : Quartier Quinzambougou de Tambacounda, en face du camp militaire de Mamadou Lamine DRAME